

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

事業名 ：一般国道57号（中九州横断道路） 犬飼千歳道路	事業区分 ：一般国道	事業主体 ：国土交通省 九州地方整備局
起終点 ：自：大分県豊後大野市犬飼町 至：大分県豊後大野市千歳町	延長 ：4.3km	
事業概要 ： 中九州横断道路は、大分市、熊本市を中心としたそれぞれの都市圏を相互に連絡し、両県の交流を促進するとともに、沿線地域の産業発展、地域活性化に寄与することを目的とした道路である。犬飼千歳道路は、その一部を構成する延長4.3kmの自動車専用道路である。		
H7年度事業化	H - 年度都市計画決定	H11年度用地着手
H12年度工事着手		
全体事業費	200億円	事業進捗率
53%		供用済延長
0km		
計画交通量 ：27,900台/日		
費用対効果分析結果	B/C ： (事業全体) 2.7 (残事業) 7.4	総費用 ： (残事業)/(事業全体) 78 / 217億円 (事業費：58/196億円) (維持管理費：20/20億円)
総便益 ： (残事業)/(事業全体) 578 / 578億円 (走行時間短縮便益：470/470億円) (走行費用減少便益：52/52億円) (交通事故減少便益：56/56億円)		基準年 ： 平成16年
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（日常生活圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる） ・安全で安心できるくらしの確保（三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる）		
他5項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 犬飼千歳道路は、沿線地域間の連携・交流や地域活性化等に重要な役割を果たすことが期待されており、犬飼町、千歳村をはじめとする関係2市9町2村の首長及び議長で構成される豊肥・地域高規格道路建設促進期成会より早期整備の要望を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 並行する国道57号の交通量は年々増加しており、需要が高まっている。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 事業進捗率は事業費ベースで53%であり、用地買収も93%が完了している。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地買収の93%が完了するとともに、関係機関との協力体制も確立しており、引き続き、平成18年度供用予定に向けて用地買収及び工事の推進を行う。		
施設の構造や工法の変更等 IC構造の見直し（立体Y型から平面Y型へ）、リサイクル緑化工法の採用などにより、コスト縮減を図っている。		
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	
事業概要図		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。